

ERチェック表の使い方

- ① 救急外来で症例を経験した後に・・・
例：ショックと意識障害がある患者さんを診たぞ。
 - ② ERチェック表の当てはまる項目を見る。
例：「意識障害」の3つの項目をチェックしよう。
「Do don't が言える」「AIUEO TIPS が言える」「意識障害とショックがある場合の対応」
 - ③ 現在の自分のいるレベルにチェックを入れよう。
例：
 - 「意識障害とショックバイタルの患者さんです」と報告するレベル
→ 「reporter」＝報告できる
 - 「意識障害とショックがあるので、ショックの鑑別と治療が優先です」
→ 「interpreter」＝解釈できる
 - 「意識障害とショックがあるので、ラクテック全開にしながら、原因検索を始めています」
→ 「manager」＝マネジメントできる
 - 「意識障害とショックがある場合はね・・・」と教えることができる
→ 「educater」＝教えられる
 - ④ 赤本または Step Beyond Resident の何ページに載っているか調べて、ページ数を書きこむ。
例：赤本 P2-4
 - ⑤ また同じような症例を経験したら、見返して自分のいるレベルにチェックを入れる。
- ★救急カンファなどで他の人が経験したケースでも、同様にチェックを入れていきましょう。

予告：8月13日 チェックリスト大会

各項目を、みんなで順番に答えていく方式で、各自の理解度をチェックしていきます。

今の自分の理解度と、得意分野・不得意分野を知るためですので、事前勉強は必要ありません！

